

令和5年度

いじめ等の問題について考える集会 (中学校集会) 配付資料

日 時 令和5年12月19日(火)
14時15分～15時15分

会 場 函館市立本通中学校
函館市立五稜郭中学校
函館市立赤川中学校
函館市立鱒川中学校
函館市立戸井学園
函館市南北海道教育センター



函館市教育委員会

令和5年度「いじめ等の問題について考える集会（中学校集会）」 開催要項

1 開催の目的

「函館 いじめ見逃しゼロへ～いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指して～」をテーマに、各学校の取組の交流やテーマに係る協議等を行い、いじめの未然防止，早期発見・早期対応や家庭・地域と連携した対策を推進することで，本市における「いじめ見逃しゼロ」の取組の一層の充実を図ることを目的とする。

2 日 時

令和5年12月19日（火）14時15分から15時15分

※ 接続リハーサル

令和5年12月12日（火）15時20分から15時35分

3 会 場

※ WEB会議システムを活用した集会

- ・函館市立本通中学校
- ・函館市立五稜郭中学校
- ・函館市立赤川中学校
- ・函館市立鱒川中学校
- ・函館市立戸井学園
- ・函館市南北海道教育センター

4 参加対象

- ・本通中学校，五稜郭中学校，赤川中学校，鱒川中学校，戸井学園の代表生徒
学校教職員，保護者 等
- ・函館市いじめ防止対策審議会委員

5 内 容

(1) 交流：自校の取組の紹介

(2) 協議：「いじめ見逃しゼロを目指して，私たちができること」

14:15 14:20

14:40

15:10 15:15

開	交 流	協 議	閉
会	(20分間)	(30分間)	会

6 その他

- (1) 接続確認リハーサルにつきましては，別途お知らせします。
- (2) 集会当日は，14時05分には接続準備を完了するようお願いします。

函館市立本通中学校 発表用資料

① 本通中学校の取組

本校では、生徒会スローガン「助け愛 認め愛 高め愛～笑う本中福来たる～」のもと、様々な活動の中でお互いが尊重し合えるような取り組みを行っています。

〈 活動内容 〉

①本中Happybirthday

全校生徒、教職員の誕生日をお祝いしています。
職員室前にカードを掲示、各教室にもお便りを配付して、学校全体で1人1人の誕生日を祝福します。
クラス・部活・学校全体の中で、自分自身や仲間がかけがえのない大切な存在であることを改めて実感できるように、この活動を続けています。



②みんなの愛

普段から思っているけど伝えられない感謝や想いを伝え合う活動です。11月は「みんなのありがとう」というテーマで、友人や家族、先生への感謝の気持ちを表現しました。学校全体が温かな優しい気持ちで溢れるように、定期的にこの活動を行っています。



③仲良し大作戦

毎年、6月と2月の定期試験終わりの6時間目に、学校全体で生徒会が考えた企画に参加します。2023年の6月は「本中フレンズ」を実施しました。年2回の実施ではありますが、全校生徒で仲を深められる大切な時間です。



② いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること

いじめ見逃しゼロのためには、学校全体に響く「いじめは絶対に許さない」という直接的な取組を行っていくことが大切であると考えます。次の項目については、今後行っていきたいと考えている活動である。

- (1) 継続：「みんなの愛」 ～いじめゼロを目指して～
- (2) 新規：本中を 笑顔の絶えない 学校へ（俳句コンクール）
- (3) 新規：生徒会通信で呼びかけ(いじめの定義や芸能人の体験談などを載せる)

五稜郭中学校 発表用資料

① 五稜郭中学校の取組

全校縦割り活動「G21」について

私たち五稜郭中学校では、全校生徒520名での縦割り活動「G21」を行っています。1年生から3年生まで21のチームに分かれ、様々な活動を行います。各チームには「リーダー1名」と「サブリーダー2名」がいて、2～3年生が担当します。

（1）対面式

最初にグループごとと新入生を迎え、自己紹介や歓迎のレクを行います。その後体育館に全チームが集まり、グループ紹介パフォーマンスを発表します。学校の一体感が感じられます。



対面式のグループ紹介

（2）体育祭

グループ対抗の競技（今年度は「全校リレー」「借り人競争」）に向けて、リーダーを中心に練習計画を立て、チームで協力しながら競技に挑みます。走順を決めたり、お互いに応援しながら、チームの結束力を高めました。



体育祭での全校リレー

G21の活動のまとめ

今年度は取り組めていませんが、校則進展会という、校則の見直し活動もG21のグループで行っています。こちらの活動も、他学年の生徒と一緒に活動することで仲を深めることができ、他の意見を尊重することを学ぶことができます。リーダーやサブリーダーを中心に自分たちだけで活動を運営していくことで、仲間の意見を尊重したり、自分の意見をうまく伝えることの大切さを学ぶことができました。このような活動がいじめ等の問題の撲滅につながっています。



リーダーとサブリーダー

② いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること

生徒会総務が「仲良く、元気よく」というイメージを、あいさつ運動などを通して全校に広め、学校全体が優しくやわらかな雰囲気となるよう、普段の活動から気持ちを込めて取り組んでいます。

1で紹介したG21の活動を通して、生徒一人一人が思いやりの心を学び、その心が自然といじめ防止につながっています。また、月に1度「一五一得」という生活の振り返りシートに自分自身の反省を記入し、さらによりよい仲間との関係が創り上げられるような取組も、全校で行っていますので、これらもいじめ見逃しゼロにつなげていきたいです。

赤川中学校 発表用資料

① 赤川中学校の取組

『学年関係なく、共に支え合える関係を築こう』という目的で、「いじめについて考える集会」を生徒会が中心となり行いました。

- 1 生徒会役員で事実例をもとにして、右のような動画を制作しました。

上) 遊びの延長線からなる暴力

中) あだ名など名前を使ったいじめ

下) 足をかけるなどの身体的ないじめや、悪口などの精神的ないじめ

- 2 縦割りの班を作り、A・B・C それぞれ時間を分け、体育館で下のような流れで企画を実施しました。

いじめ対策企画の内容

- ①生徒会で制作した動画を視聴する。
- ②各リーダーを中心に班で話し合う。
- ③2つの班が発表する。
- ④ハートの紙にこの活動を通して考えが変わったことや、活動全体を通しての感想を書く。

- 3 発表は話し合いで出た意見を各班のリーダーがJamboardに入力し、スクリーンに映しながら発表しました。



② いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること

いじめ対策企画の中で他学年と話し合い縦の結びつきを強め、また違う視点からもいじめに対して考えることができ、よりいじめを身近なものだと実感してもらいました。また、このような他学年交流を増やす事により、同学年だけでなく他学年にも相談できるような関係づくりに繋がると思います。赤川中学校では、この活動をきっかけにもっと他学年交流の機会を増やしていけたらと思います。3つの動画についていじめに繋がりそうな、からかいやLINEなどのネットでのことについても話し合ってもらいました。この活動で学んだことを今後も気をつけることで、いじめ見逃しゼロに繋がっていくと思います。

鱒川中学校 発表用資料

① 鱒川中学校の取組

【今年度の**学校テーマ**：「**和気藹藹** ～**笑顔の花を咲かせよう**」

この学校テーマを土台にして ➡

【今年度の**学校祭テーマ**】

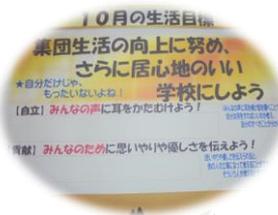
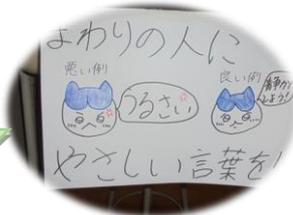
和気藹藹 ～**共にかがやけ** **煌めく** **ステージ** **へ**～



『みんながどんな困難にぶつかってもあきらめず挑戦し、笑顔を絶やさず、お互い励まし合って前へ進もう。一人一人が輝けるステージを目指して…』

笑顔を絶やさないために…いじめのない学校を目指して！

各委員会が中心となってポスター作り



月ごとの生活目標の掲示と確認



♪文化祭での全校合唱♪

全校生徒の協働作業



🌀神社の清掃活動🌀

「毎日のコツコツとした取り組みや、行事で力を合わせることが、いじめの根を摘むことにつながると信じて活動しています。」

② いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること

- ・一人一人が、いじめを「しない」「させない」「見逃さない」という意識を持つ。
- ・まず自分に対して「おもいやり」を持つ。自分を大切にすることで、相手も大切にできる。
- ・みんなが共に楽しみ、交流できる時間を大切にし、いじめを認識したら勇気を持って守る。

戸井学園 発表用資料

① 戸井学園の取組

○ はじめに

戸井学園は、1年生から9年生までが在籍する義務教育学校です。1～4年生をジュニアステージ、5～7年生をミドルステージ、8・9年生をシニアステージとしています。行事や当番活動では、ステージや全校の縦割りで活動をする場面がたくさんあります。

1. ハートフル集会の実施（令和5年11月14日）

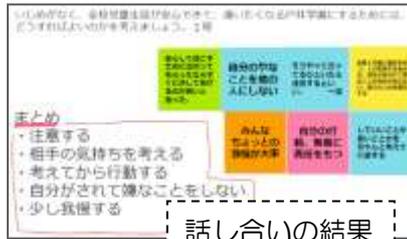
全校の児童生徒全員が、安心して通いたくなる学校にするために、自分たちにできることを考える“ハートフル集会”を、ジュニアは学級ごとに、ミドル・シニアは合同で行いました。生徒会役員が中心となって作成した問題提起の動画を観て、いじめにつながるかもしれない言動について話し合いました。また、過去に経験した「されて嫌だったこと」について、事前にアンケートをとった結果を共有し、自分で気づかないうちに仲間に嫌な思いをさせているかもしれないことや、嫌な思いをする人をなくするために、どうすればよいのかをみんなで考えました。集会の最後に、一人一人が自分にできることを考え、カードに記入しました。



問題提起の動画



話し合いの様子



話し合いの結果



記入したカード

2. 生徒会活動による交流の機会の充実

生徒会では、全校の児童生徒の交流が活発になるような企画を行っています。

例	生徒会役員・学級委員会	集会・交流レクリエーション
	学習委員会	ふれあい学習広場
	生活委員会	挨拶運動・冬の遊び場づくり

休み時間は異学年同士で過ごす場面が多く、先輩が後輩の相談に乗ったり、困っているときには声をかけ合ったりと、日頃から交流をはかることで、学校全体が温かな雰囲気に包まれています。

② いじめ見逃しゼロを目指して、私たちができること

優しさと思いやりのあふれる戸井学園を目指して、ハートフル集会で一人一人が書いたカードの内容、特に以下の点について意識して生活するよう、お互いに声をかけ合っていきます。

- ジュニア ○ やさしいことばでつたえます。
- いやなことをしたりいったりしてしまったときは、すなおにあやまります。
- ミドル・シニア ○ 自分の言葉と行動に責任をもちます。
- 一人一人の価値観（考え方・感じ方）を大切にします。
- 嫌な思いをしている人がいたら、みんなで注意します。

これらのことを実現するために、日々の交流を通して、お互いのことを知ることや、信頼関係を築くことを大切にしていきます。自分一人で解決できないときは、友達や先生に相談をしてみんなで解決していきます。